

バドミントンを楽しく見るために



一般的な質問

Q. バドミントンとは、どんなスポーツですか？

A. ネットを挟んでラケットでシャトル（羽根）を打ち合うスポーツです。決められた相手コート内にシャトルを落とすか、相手がフォルト（反則）を取られた場合、点数が入ります。

試合には、1対1のシングルス（単）と2対2のダブルス（複）があり、ダブルスには、男性同士、女性同士でペアを組むものと、男女でペアを組むミックスダブルスがあります。

競技としてのバドミントンは、緩急を使い分ける様々なショットやフットワーク、対戦相手との駆け引き、ダブルスの場合、ペアとのコンビネーションなど多岐にわたる技術を必要とし、パワーや瞬発力とともに持久力の優劣も勝負を左右する、複雑で非常に激しいスポーツです。

Q. シャトル（羽根）とはどんなものですか？

A. コルクの台にガチョウまたはアヒルの羽根を16枚取り付けています。重さは5g程しかありません。

Q. ラケットの重さや長さはどれくらいですか？

A. 規定ではフレームの全長が68cm以内、幅23cm以内と決められています。重さは80～86gが主流で、材質はカーボンやチタン等が使われています

プレーヤーはそれぞれ自分に合わせてラケットを選んだり、ストリング（ガット）の張りの強さを変えたりして使っています。

Q. 打たれた時のシャトルのスピードはどれ位ですか？

A. 全ての球技の中で打球の初速が最も速いことで、ギネスブックに認定されています。下向きに強く打つスマッシュのとき、世界の一流選手の初速は400kmを超え、世界記録はなんと493km（2013年7月28日ギネス世界記録認定）にもなり、その速度は瞬間的には新幹線より速いスピードです。

Q. 新幹線より速いシャトルをどうして打ち返すことができるのですか？

A. ラケットから離れる時の速度は速いのですが、シャトルは羽根がついているので空気抵抗を受けやすいため、打球がネットを越えてある距離になると減速します。初速と終速の差が一番大きいスポーツでもあります。また、慣れてくると飛んでくるシャトルのコースを予測できるようになります。

Q. どうすれば得点（ポイント）になりますか？

A. 試合は3ゲーム行い（1ゲーム21点）、2ゲーム先取した方が勝ちとなります。

また、両者が20点になった場合は、その後最初に2点差をつけた方、もしくは先に30点に達した方が勝ちとなります。

Q. ラリーポイント制とは何ですか？

- A. サービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝ったときに得点になるのがラリーポイント制です。
 (国体では2006年に開催された兵庫国体までは、サービス権を持っているサイドの方がラリーに勝ったときだけ得点になりましたが、翌年の秋田国体からはラリーポイント制に変わりました。)

Q. シングルスとダブルスでコートの使い方は違うのですか？

- A. 下の図のとおりロングサービスラインやサイドラインの位置が異なります。斜線で塗りつぶしている部分が使用する範囲になります。



国体に特化した質問

Q. 種別はどのようなものがありますか？

- A. 成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の4種別があります。

Q. 参加都道府県はどうやって決めるのですか？

- A. ブロック大会を通過したチームが国体に出場できます。
 特別国民体育大会では少年女子は47都道府県全てが出場できます。
 成年男子、成年女子、少年男子は全国を9ブロックに分けて、各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県が出場でき、成年女子と少年男子は開催県（鹿児島県）を含む16チーム、成年男子は開催県（鹿児島県）を含む32チームの参加となります。

Q. 試合はどのようにして行いますか？

- A. すべて都道府県対抗の団体戦トーナメント方式で行います。
 試合は、ダブルス（複）ーシングルス（単）ーシングルス（単）の順で行い、先に2勝したチームが勝ちとなります。なお、勝敗決定後のゲームは行いません。

Q. 天皇杯得点・皇后杯得点は、どのようにして決まるのですか？

- A. 得点には、競技得点と参加得点があります。競技得点は、各種別ともに1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位（4チーム）各7.5点です。参加得点は、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与えるものです。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えられません。

男女総合成績を競う天皇杯の対象種別は全種別となり、女子総合成績を競う皇后杯の対象種別は成年女子・少年女子になります。